News Release

日本たばこ産業株式会社

2013年4月1日

森林保全活動　「JTの森 中津川」
岐阜県、中津川市と森林保全協定を5年間延長

JT（本社：東京都港区　社長：小泉　光臣）は、岐阜県中津川市蛭川に所在する「JTの森 中津川」の森林保全協定を5年間延長し、区域の拡充を行います。

本協定は、岐阜県が進める「企業との協働による生きた森林づくり」制度に基づくもので、2008年4月より岐阜県、中津川市、JTの三者、および地域の方々の協働による森づくりを進めてきました。桑畑跡だった未立木地では、植栽と下刈などの手入れを通じてヒトツバタゴ、コナラなど13種の広葉樹幼木が育ち始め、水源かん養保安林のヒノキの保育地では、除伐や枝打ちなどの手入れが進みました。

またJTの森の取組みが一つの契機となり、森林を地域全体で守り次世代へ伝えていくことを目指す地元ボランティア組織“里山活性化委員会”が結成され、里山を再生する独自の取組みも始まっています。

一方、植栽を行ったエリアは土壌の環境が未だ厳しく幼木もまだ生育途上にあります。将来、地域の方々が自由に散策を楽しめ、自然環境を再認識できる緑あふれる森林となることを目指し、森林保全協定を5年間延長することとしました。併せて協定森林を9ヘクタール拡張し、手入れが行き届かなくなった里山の除伐や、水不足解消に向け蛭川地区の先人が苦労の末に築いた溜池を囲むヒノキ林の整備にも取り組みます。

今後も、岐阜県、中津川市の協力を得て、手入れが行き届いた森林に回復させ、水源かん養をはじめとする多様な森の恵みと安らぎを感じることができ、地域交流につながる協働の森づくりを進めてまいります。

JTグループは、たばこ、医薬、食品事業を中心とした各事業で、葉たばこ、紙、野菜、茶葉などを原材料として使用しており、事業を支える自然の恵みに対する感謝の想いと企業の社会的責任の観点から、森林保全活動に取り組んでいます。

今後も、健全で豊かな環境が将来の世代に引き継がれるよう、より良い環境の創造に向けた積極的な取組みを進めてまいります。

【変更内容】

変更前	変更後
森林の所在：岐阜県中津川市蛭川南洞3883番地1 面積：12.29ha 協定期間：2008年4月1日より5年間	森林の所在：岐阜県中津川市蛭川南洞3883番地1 同市蛭川若山5735番地256、5735番地1 面積：21.29ha 協定期間：2008年4月1日より10年間

JT本社　IR広報部　〒105-8422　東京都港区虎ノ門2丁目2番1号　TEL03-5572-4291

ひとの　ときを、　想う。